

【心臓カテーテル検査】を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 放射線科で以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学会学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	当院の FFR-Angio 導入における使用経験および解析者間誤差の調査
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2026 年 10 月 31 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 診療放射線科 研究責任者 古庄 大樹
【対象となる方】	西暦 2025 年 8 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに【検査科】にて【心臓カテーテル検査】を受けた方 170 名
【研究の意義、目的、方法】	冠動脈狭窄症の解析法として、冠動脈内にワイヤーを通して冠動脈の狭窄の重症度を数値化した FFR(冠血流予備量比:Fractional Flow Reserve)の測定が行われています。しかし、冠動脈の血管壁をワイヤーで傷つける可能性が示唆されていました。そこで近年ワイヤーを使用せずに造影剤のみで冠動脈狭窄症を解析することができる FFR-Angio が開発されました。しかし、解析者間での解析結果に差が生まれるとの報告があるため、当院でのデータを用いて検証を行います。加えて、FFR-Angio を導入している施設が少ないことから、その使用経験について報告します。
【利用する情報の種類】	診断用画像(心臓カテーテル検査)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：放射線科 古庄 大樹 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）